

施策・主な取組シート

基本方向	(4) まちのにぎわい・活力づくり	基本政策	4) 広域交流・国際交流の推進
(1) 施策			
名称	2 6 広域交流の推進		
目標	広域道路ネットワークの結節点である地理的優位性と、地域資源の発掘・活用および魅力の発信を通じて、県内及び対岸地域からの交流人口を増やし、にぎわいの創出をめざします。		
現状と課題	本市は、東京湾岸の主要都市や圏央道沿線地域、県南地域をそれぞれつなぐ広域道路ネットワークの要となる立地特性を有しており、この特性を活かして、本市への交流・定住人口の増加や企業誘致につなげてきました。今後は、東京湾アクアライン通行料金引下げや圏央道整備の効果をとり込み、広域的な交流機能を活用した地域づくりを推進し、周辺地域にも波及させる役割が期待されています。 また、木更津金田バスターミナル（チバスタアクア金田）や道の駅「木更津 うまくたの里」の活用や、木更津港内港周辺の公有地への民間活力による集客施設の誘致、外航クルーズ船の寄港実現など、賑わい創出に向けた取り組みが求められています。		
課題解決の方向性	東京湾アクアラインや圏央道の整備進展の効果を活かし、木更津金田バスターミナルや道の駅「木更津 うまくたの里」を活用して、市内外からの多様な交流の創出に向けた取り組みを推進します。 また、大型クルーズ船の誘致活動や、パークベイプロジェクトの実現に向け、木更津港内港周辺の公有地へ民間事業者による集客施設等の整備を促進するなど、基本構想に位置付けた「みなとまち木更津再生プロジェクト」の取組を着実に推進し、官民が連携して、港を中心に多くの人が集い、憩える拠点づくりに取り組むことで、新たな広域交流拠点の形成を図ります。		
(2) 主な取組			
No.1	名称	東京湾アクアラインを活用した地域づくりの推進	
	担当課	地域政策課	
	概要	・東京湾アクアライン通行料金引下げの効果を、本市への観光・交流人口や定住人口の増加及び産業利用の拡大に結び付けるため、東京湾アクアラインを活用した地域づくり事業を継続的・発展的に実施します。 ・恒久的なアクアライン通行料金の引下げについて、県南部地域の行政や経済団体等と連携し、機会を捉えながら国や県に働きかけます。	
No.2	名称	みなとまち木更津の再生	
	担当課	観光振興課・産業振興課	
	概要	・木更津港の知名度を向上させるための海外クルーズフォーラムへのブース出展や、国内外のクルーズ関連会社への誘致活動等を継続的に実施し、誘致実現をめざします。 ・木更津港内港周辺の公有地等を活用した、民間活力による集客施設の誘致を進め、憩いと賑わいの親水空間の整備を行う、パークベイプロジェクトの段階的な進捗を図ります。	
No.3	名称	木更津金田バスターミナルの活用	
	担当課	地域政策課	
	概要	・県内地域と対岸地域を結ぶ移動利便性を高め、産業振興や地域活性化を図るため、木更津金田バスターミナルへの高速バスの乗入れ路線の増加、乗換え可能路線の増加（ハブ化）を進め、高速バスネットワークの拠点施設としての機能強化を図ります。	

No.4	名称	新たな交流拠点としての道の駅の活用		
	担当課	農林水産課・地域政策課		
	概要	・道の駅「木更津 うまくたの里」を地域住民や生産者と観光客が集い交流する拠点とし、農業振興や観光振興に取り組みます。 ・道の駅利用者や地域の生産者が一層、安全・安心かつ快適に利用できるよう、施設や周辺環境の整備に努めます。 ・道の駅への高速バスの乗り入れに向けて、新たな需要調査を行いつつ、新規路線の開拓や既存路線乗り入れの推進に取り組みます。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	クルーズ船の寄港数	1	12	月1回のクルーズ船寄港を目指します。
	木更津金田バスターミナル（チバスタアクア金田）高速バス乗入れ路線数	11路線	15路線	木更津金田バスターミナル（チバスタアクア金田）への高速バスの乗入れ路線数が増加することにより、県内・対岸との移動利便性が向上し、市民の通勤・通学の足の確保につながる。 市内の停車箇所を経由し、アクアラインを通過する高速バス（15路線）において、全ての路線の乗入れを目指し、目標値を設定した。
	道の駅利用者数（レジ通過者数）	33.4万人 （※H29.10.20開業～ H30.3.31の実績値）	60.0万人	広域的な交流拠点の役割を担う道の駅において、利用者数（レジ通過者数）を指標とすることは有効であるため。